

2025年度 事業報告

2025年4月1日～2026年3月31日

<Vision>

「広告業界の未来のために、JAAAは広告の価値と魅力を創造し向上させるエンジンとなる」

2025年は戦後80年、NHKラジオによる放送開始100年など歴史の節目を感じる年となり、1950年に「日本新聞広告業者協会」として設立されたJAAAも今年75周年を迎えます。戦後の広告業は大量生産・大量消費による経済成長に寄与することで、産業として大きく成長し日本経済に欠かせない機能を担ってきました。

JAAA設立以降75年の歴史を振り返ると、新聞、そしてテレビを中心とした4マスメディア中心の広告ビジネスから大きな変化が起き、現状ではインターネット広告が市場の約半分を占めるようになっていきます。テクノロジーの進化とインターネットの普及により、広告の民主化ともいえる状況が発生し、数多くのプレイヤーが参加し、様々な広告手法が生み出されてきました。消費者接点が劇的に広がるにつれて、広告の活動領域と可能性が広がる一方、広告の存在をネガティブに捉える意識が高まり、信頼性を棄損するような広告が散見されるなど、広告が社会に健全な価値を提供し続けるために解決すべき課題が山積していることを痛感します。

広告は平和産業であり、人々の生活を豊かにするという大きな役割をもっています。単なる販売促進の手段ではなく、人の気持ちをポジティブにし、社会課題の解決に寄与する力を持っています。広告の信頼性確保と新たな価値提供によって広告業界全体がさらに成長を遂げるために、会員各社が自らの課題を可視化し、必要な変化対応と新たな戦略ストーリーを描いて実行することが欠かせません。

JAAA75周年となる本年にあたり、JAAA全体で広告の現在地を確認し、広告の力を信じて、広告の可能性と提供価値を高めるための活動に注力して参ります。

<Action Plan>

1. 広告の価値再発見とビジネス成長への貢献

インターネット広告が最大シェアを占める現在の広告市場において、広告ビジネスのプレイヤーが多様化すると同時に、生活者の広告に対する意識や広告主の期待も大きく変化しています。広告会社の最大の強みである「クリエイティビティ」を起点としながらも、広告主や社会に対する価値提供のありかたについて、全ての広告会社が思考を深めることが必要です。

JAAAは会員社が広告の価値を高め、ビジネス成長するための情報・機会提供を行っていきます。

2. 広告業界の人材基盤強化

広告は人のみが価値を生む産業であり、優れたクリエイティビティと実行力を持つ人材を確保し続けることがビジネス成長の生命線です。残念ながら広告業界の魅力が相対的に低下し、人材不足が「質・量」とともに顕在化しており、広告業界の将来を担う人材基盤の弱体化が課題になっています。JAAAでは会員社の人材基盤強化に資する施策を提供し、全ての人々がプライドとモチベーションを持って広告の仕事に取り組む環境整備に努めます。

3. 社会から信頼され、社会課題に貢献する存在へ

広告の民主化によって、発信される広告のなかには信頼性を棄損するケースが存在します。

また全ての企業経営には、法令順守はもちろんコンプライアンス・適切なガバナンス・高い倫理観が必要条件として求められています。JAAAでは自ら制定する倫理綱領に立ち戻り、広告業界の信頼性維持に取り組むと同時に、環境・人権など「SDGs」に代表される社会課題に常に目配りし、DE&I推進や脱炭素化など広告業界全体としてフォーカスすべき課題に積極的にコミットしていきます。

<2025年度 事業報告>

(2025年4月1日～2026年3月31日)

1. 2025年度を振り返って

電通が発表した「2025年 日本の広告費」によりますと、日本の総広告費は、前年比105.1%の8兆623億円となり、4年連続で過去最高を更新しました。市場全体の成長を力強く牽引するインターネット広告費は前年比110.8%となり、1996年の推定開始以来、初めて総広告費の半数を超える50.2%に達しました。なかでも、動画広告やソーシャル広告が引き続き拡大しており、市場全体を押し上げる主要因となっています。

2025年度は、法令改正等に伴う関係省庁との連携・対応に注力した一年でもありました。経済産業省とのハイレベル面談におきましては、『持続可能なパートナーシップ構築のための広告制作プロセスマネジメントハンドブック』の周知、『「未来志向型の取引慣行に向けて」に係る自主行動計画のフォローアップ指針への対応を踏まえた調査』、中小受託取引適正化法成立に伴う『広告会社のための下請法ガイドブック』の改訂など、当協会における賃上げや価格転嫁対策等に関する取り組みについての説明をいたしました。また、総務省の「デジタル広告の適正かつ効果的な配信に向けた広告主等ガイダンス」につきましても、広告主企業と広告会社間における課題共有と相互理解の促進を図っております。

さらに、コロナ禍を契機に取り組んでまいりました「OOH新共通指標策定プロジェクト」が結実し、2025年9月に「一般社団法人 日本OOHメジャメント協会」が設立されるに至りました。会員各社の皆さま、とりわけワーキンググループにご参加いただいた方々の多大なるご尽力に、改めまして深く感謝申し上げます。

また、本年度、当協会は創立75周年という大きな節目を無事に迎えることができました。日頃からの協会活動への深いご理解とご協力に対し、厚く御礼申し上げます。周年事業を通じて「広告の現在地」を確認し、未来への向き合い方を探求する契機をご提供できたことは、広告が果たすべき社会的役割を皆さまと再考する貴重な一石となったものと確信しております。

足元の日本経済は、物価高や世界情勢の不透明感が漂う環境下にあります。生活者は自らが納得できる価値にはしっかりと投資する「ロジカル消費」の傾向を強めており、これが2025年の、8兆円を突破する総広告費の後押しとなりました。

さて、これから迎えます2026年度は、AI技術のさらなる実用化に加え、世界的な大型スポーツイベントの開催が多数控えており、広告業にとって数多くの活躍の機会が存在します。当協会は、このような不確実な時代にこそ、「人々の生活を豊かにする」という広告の本質的価値を高め、時代の趨勢を的確に見極めながら、業界のさらなる発展に向けて全力で対応を強化してまいります。

2. 業務執行報告

(1) 2025年度定時総会

東京會館にて下記の通り開催した。会員代表者の出席者52名、委任状の提出が63名、合計115名で、会員総数142社の過半数を超え、定款第17条及び第18条により本総会は有効に成立した。定款により五十嵐理事長を議長に選任し、議事録署名人としてTOMOEの神田橋治理事、内藤一水社の内藤好之理事を選任した。

1) 日 時 2025年5月30日(金) 13時30分～14時

2) 会 場 東京會館・3階ロース

3) 議 事

[報告事項]

1. 2024年度事業報告の件

2. 2025年度事業計画並びに収支計画の件

[決議事項]

1. 2024年度決算報告承認の件

2. 2025・2026年度役員選任の件

(2) 理事会

業務執行理事である理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の職務執行状況、理事会決議事項は以下の通り。

(理事長：五十嵐博)

<2025年4月1日～5月30日>

■五十嵐理事長、戸田副理事長、大山副理事長、泉副理事長、高品専務理事、池田常務理事

4月24日 第344回理事会の開催

1. 2024年事業報告・決算報告承認の件
2. 2025・2026年度役員候補者承認の件
3. 専務理事・常務理事候補者承認の件
4. 2025年度定時総会招集通知案承認の件
5. 入会申請承認の件
6. 事務局員就業規則等一部改定承認の件
7. 利益相反取引報告承認の件

<2025年5月30日～2026年3月31日>

■五十嵐理事長、大山副理事長、泉副理事長、水島副理事長、高品専務理事(2025年末退任)、池田常務理事

5月30日 第345回理事会の開催

1. 2025・2026年度業務執行理事選定の件

7月23日 第346回理事会の開催

1. 利益相反取引報告承認の件

10月31日 第347回理事会の開催

1. 2025年度上期事業報告及び収支決算報告承認の件

2. 利益相反取引報告承認の件
- 1月29日 第348回理事会の開催
1. 一般社団法人日本広告業協会吉田秀雄記念賞受賞者選考規約一部改定の件
 2. 利益相反取引報告承認の件
- 3月24日 第349回理事会の開催
1. 2026年度事業計画案・収支予算案承認の件
 2. 第61回吉田秀雄記念賞受賞者承認の件
 3. 第55回懸賞論文入賞・入選者承認の件
 4. 2025年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者承認の件
 5. 第13回 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞承認の件
 6. 一般社団法人日本広告業協会「事業委員会」運営基準一部改定の件
 7. 2026年度定時総会開催承認の件
 8. 利益相反取引報告承認の件

■ 高品専務理事（2025年末退任）、池田常務理事、谷野専務理事代理（2026年1月着任）
協会運営等を推進

・ **運営委員会（委員長：戸田裕一 ⇒ 水島正幸）**

- 4月18日 第344回・第345回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。
7月15日 第346回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。
10月23日 第347回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。
1月22日 第348回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。
3月17日 第349回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

・ **財務委員会（委員長：曾我有信）**

- 4月14日 2024年度決算報告について書面決議を行った。
3月 9日 2026年度収支予算案について書面決議を行った。

・ **入会資格審査委員会（委員長：中島明美）**

- 4月15日 株式会社VOSTOK NINEの入会審査を行った。

・ **吉田秀雄記念賞選考委員会（委員長：神田橋治）**

- 2月10日 第61回吉田秀雄記念賞の候補者について検討を行った。
3月 3日 第61回吉田秀雄記念賞の選考を行った。

(3) 監査・検査

- 4月14日 会計検査 2024年度決算に関して監事会社の経理担当者による会計検査を書面で行った。

- 4月14日 監査 2024年度決算並びに業務の執行状況について、監事による監査を書面で行った。
- 10月15日 会計検査 2025年度上期決算に関して監事会社の経理担当者による会計検査を書面で行った。
- 10月15日 監査 2025年度上期決算並びに業務の執行状況について、監事による監査を書面で行った。

(4) 理事・監事の就任及び辞任

◆理事の辞任

2025年5月30日付

栗本 聖也 株式会社オプト

大塚 尚司 株式会社オリコム

戸田 裕一 株式会社博報堂D Yホールディングス

丹羽 信一 株式会社日本経済広告社

2025年6月23日付

原口 幸 株式会社ジェイアール東日本企画

◆専務理事の辞任

2025年12月31日付

高品 宏仁 一般社団法人日本広告業協会

◆理事の就任

2025年5月30日付

吉田 康祐 株式会社オプト

中島 明美 株式会社オリコム

佐藤 一哉 株式会社J R東海エージェンシー

鈴木 篤 株式会社電通ランウェイ

丹羽 信宏 株式会社日本経済広告社

名倉 健司 株式会社博報堂

小坂 洋人 株式会社Hakuhodo DY ONE

島田浩太郎 株式会社フロンテッジ

◆専務理事代理の就任

2026年1月1日付

谷野 謙 株式会社電通

3. 各委員会報告

◆ビジネス統括委員会（担当理事：神田橋治 委員長：松本千里）

9月26日、3月6日

1. 委員の交替

神戸 久（朝日広告社） ⇒ 川淵 茂宏（同社 取締役執行役員管理統括）

小野 伸司（ジェイアール東日本企画） ⇒ 竹島 博行（同社 専務取締役）

西岡 正紀（博報堂D Yホールディングス） ⇒ 多田 英孝（同社 取締役専務執行役員）

野沢 直樹（読売広告社） ⇒ 長津 秀美（同社 取締役執行役員）

2. 2025年度各委員会報告

経理委員会、情報システム委員会、法務委員会、制作取引委員会、営業委員会、著作権委員会、広告の機能と役割研究委員会、CSR委員会、広告問題研究委員会より上半期の活動報告を9月26日に、下半期（年度）の活動報告を3月6日に受けた。

なお、著作権委員会は、次年度より法務委員会下でワーキンググループとして編成し、CSR委員会を廃止、広告問題研究委員会の一部事業を、広告の機能と役割研究委員会に移管して廃止、また新たに脱炭素化研究会を脱炭素化委員会とし、ビジネス統括委員会の下に置くこととした。

・経理委員会（委員長：長森秀樹）

7月16日、1月23日

1. 委員の交替

平山 工（I&S BBDO） ⇒ 鹿野 和夫（同社 チーフファイナンシャルオフィサー）

新井 正人（ジェイアール東日本企画） ⇒ 池田 悟（同社 総合企画本部経理局部長）

佐治木のぞみ（博報堂D Yホールディングス） ⇒ 吉野 敦（同社 グループ経理
財務室室長補佐）

2. 改正下請法（中小受託取引適正化法、取適法）の法案成立に伴うリリース対応について

2026年1月の同法施行を受けて、会員各社にインパクトがあると考えられるポイントをまとめたリリースを、8月1日に発出した。

3. 改正下請法の法案成立に伴うガイドブックの改訂について

「広告会社のための下請法ガイドブック改訂版」の改定及びウェブページ化に向けてスケジュール調整や分担等を進めていくことを確認した。

・情報システム委員会（委員長：奥村卓也）

7月29日、10月30日、11月20日、12月17日

1. 委員の交替

加藤 直樹（東急エージェンシー） ⇒ 角田 仁美（同社 経営企画局ICT推進部部長）

小沼 武（博報堂テクノロジーズ） ⇒ 中島聡一郎（同社

コーポレートDXセンターIT監理部部長）

2. 副委員長の交替

小沼 武（博報堂テクノロジーズ） ⇒ 中島聡一郎（同社）

3. 委員各社の情報交換（「情報システムアンケート」の検討）

定点観測として実施している「情報システムアンケート」の2025年度の項目について検討、実施した。

・法務委員会（委員長：長谷川雅典）

3月27日

1. 委員の交替

石黒 博達（東急エージェンシー） ⇒ 藤原 信人（同社 グループコンプライアンス・
リスクマネジメント統括室局長）

2. JARO（日本広告審査機構）広告研究セミナー（オンライン）の実施協力

主 催 日本広告審査機構、日本アドバイザー協会、日本アド・コンテンツ制作協会、日本
広告制作協会、日本インタラクティブ広告協会、日本広告業協会他

【1回目】 8月20日 広告法務セミナーⅠ：「2024年度JAROの広告審査と事例」

講 師：吉田 巖（JARO 審査部課長）

参加者：2,098名

参加費：無料

【2回目】 9月12日 広告法務セミナーⅡ：「景品表示法の考え方と最近の運用状況」

講 師：岡田 博己（消費者庁 表示対策課課長）

参加者：422名

参加費：4,000円

3. 委員会再編について

2026年度より、著作権委員会をWGとし、例年実施していた著作権委員会の活動は継続する。

・制作取引委員会（委員長：沼澤忍）

3月17日

1. 委員の交替

西森 聡（マッキンゼーエリクソン） ⇒ 山田純一郎（同社 シニア・プロデューサー）

河竹 正彦（読売広告社） ⇒ 竹井 英雄（同社 マーケットデザイン戦略局

MDUマネジメントルーム長）

2. 字幕付きCM普及推進協議会への協力

2025年5月15日の全広連福井大会にて字幕付きCMの普及活動を実施した。また、12月1日
には大阪市内にて大阪アドバイジングエージェンシーズ協会の協力を得て、同普及推進セミ
ナーを実施した。

3. 『持続可能なパートナーシップ構築のための広告制作プロセスマネジメントハンドブック

【2025年度版】』について

2018年に発行した『新しい働き方のためのプロセスマネジメントハンドブック』をもとに、
内容をリニューアルした『持続可能なパートナーシップ構築のための広告制作プロセスマネジ
メントハンドブック』を作成した。

①発行

2025年10月1日、日本アドバイザーズ協会（JAA）、日本アド・コンテンツ制作協会（JAC）、日本広告制作協会（OAC）、また今回から、Interactive Communication Experts（I.C.E.）も加わり、当協会もあわせて5団体による合意に基づき、本ハンドブックを発行。各団体のウェブサイトにデジタル版を掲出した。ハンドブックには「広告制作ガイドライン」を掲載し、今後の広告制作業界の持続的な発展を可能にするための指針を示した。

②5団体合同セミナーの実施

標記ハンドブックの普及促進のため、下記のセミナーを実施した。

日 時 2025年11月28日（金）15時～16時

形 式 オンライン

ファシリテーター 広川 雅典（JAC専務理事）

沼澤 忍（JAAA制作取引委員会／電通）

スピーカー 中嶋 秀明（JAC／TYO）

湯浅 洋平（OAC／たきコーポレーション）

松田 成正（I.C.E./ガジェログ）

岡野 敏之（JAAA制作取引委員会／電通）

参加者 106社／218名

・営業委員会（委員長：森宗秀敏）

3月17日

1. 委員の交替

田中 呂欣（朝日広告社） ⇒ 板花 秀一（同社 ビジネスプロデュース統括室室長）

竹崎 真理（ADKマーケティング・ソリューションズ）

⇒ 藤本 健（同社 ビジネス・マネジメント本部ビジネス支援局長）

木内 伸雄（電通コーポレートワン） ⇒ 森宗 秀敏（同社 取引改革推進オフィス

オフィス長）

高田 周平（読売広告社） ⇒ 石田 成彦（同社 アカウント統括局局長代理）

2. 委員長の交替

木内 伸雄（電通コーポレートワン） ⇒ 森宗 秀敏（同社）

3. 『持続可能なパートナーシップ構築のための広告制作プロセスマネジメントハンドブック

【2025年度版】』について（制作取引委員会との連携）

『持続可能なパートナーシップ構築のための広告制作プロセスマネジメントハンドブック』について作成協力を行った。また、継続して「広告制作受発注ガイドライン」の確認書の運用と、字幕付きCM普及推進協議会への協力や周知を行った。

・著作権委員会（委員長：渡部秀人）

7月2日、9月8日、3月30日

1. 委員の交替

高橋 脩（JR西日本コミュニケーションズ） ⇒ 小林 美穂（同社 総務局次長）

石黒 博達（東急エージェンシー） ⇒ 渡辺 瑞穂（同社 グループコンプライアンス・
リスクマネジメント統括室法務コンサルティング部）

齋藤 征洋（読売広告社） ⇒ 藏田 篤（同社 グループ総務局マネジメント部部長）

2. 日本アドタイザーズ協会「広告担当者必聴：広告制作に関する基礎法規セミナー」講師派遣
＜第1回（9月17日）＞著作権 講師 渡部 秀人（委員長／電通コーポレートワン）
＜第2回（9月26日）＞表示 講師 星 知矩（電通）
＜第3回（10月8日）＞ステルスマーケティング 講師 山本 京輔（博報堂）
＜第4回（10月23日）＞肖像権・プライバシー権・パブリシティ権 講師 寺林 憲宏
（委員／大広）
＜第5回（11月5日）＞商標 講師 東條 公彰（委員／博報堂）
桐山 大（弁理士／野本・桐山国際特許事務所所長）

3. 「広告制作物の目的外利用」に関する勉強会の実施

「広告制作物の目的外利用」について、委員会委員と各社オブザーバーを募って勉強会を実施した。著作権、肖像権・パブリシティ権等、実例を踏まえながらの講義の後、ディスカッションや質疑応答を行った。

日 時 2025年9月8日（月）15時～17時

形 式 ハイブリッド（時事通信ビル9階会議室、オンライン）

講 師 数藤 雅彦（弁護士、五常総合法律事務所）

参 加 21名（著作権委員会委員、オブザーバー他）

4. 委員会再編について

2026年度より、著作権委員会は法務委員会のワーキンググループへと組織変更し、例年実施していた著作権委員会の活動は継続して行う。

・広告の機能と役割研究委員会（委員長：河原大助）

7月2日、8月1日、9月19日、11月4日、2月24日

1. 委員の交替

指出 健次（大広） ⇒ 中間 陽介（同社 ストラテジックプランニング局
マーケティングディレクター）

2. 委員の就任

三宅 規仁（VOSTOK NINE 代表取締役）

3. 活動テーマについての対応

これまで調査対象のテーマとして議論してきた「広告会社独自のクリエイティビティ」と「AI」について、クライアントのニーズも含めた調査研究の実施を目指して議論した。

・CSR委員会

1. 委員の交替

池田真理子（ジェイアール東日本企画） ⇒ 高橋 奈巳（同社 総合企画本部
経営企画局次長）

大内 哲（東急エージェンシー） ⇒ 中田 孝胤（同社 コーポレート本部副本部長兼
コーポレートコミュニケーション局長）
宮坂 隆行（博報堂D Yホールディングス） ⇒ 真坂 博（同社 サステナビリティ推進室
室長補佐）
大瀧 祐哉（読売広告社） ⇒ 田代 憲（同社 グループ総合管理局 局長代理）

2. 脱炭素化研究会の活動の共有について

脱炭素化研究会の活動状況について共有し、2026年3月4日開催の会員社向け説明会について個別に周知・参加依頼を行った。また、次年度のサステナビリティについてのウェブ会報企画への寄稿依頼を行った。

・広告問題研究委員会（委員長：北原利行）

1. 委員の交替

北原 利行（電通） ⇒ 長谷川 想（同社 マーケティング統括センター
メディアイノベーション研究部長）
石黒 博達（東急エージェンシー） ⇒ 加藤 直樹（同社 執行役員
グループコンプライアンス・リスクマネジメント統括室長）
吉川 聡（大広） ⇒ 竹内 太郎（同社 ビジネス戦略本部ビジネス統括局
ビジネス統括部）

2. 委員長の交替

北原 利行（電通） ⇒ 長谷川 想（同社）

3. JAAAセミナー「『2024年 日本の広告費』セミナー」の実施

日 時 2025年4月23日（水）16時～17時

形 式 オンライン

講 師 北原 利行（メディア開発綜研）

参加費 無料（会員社、各地区広告業協会会員社対象）

参加者 305名

◆メディア委員会（担当理事：高坂俊之 委員長：中村光孝）

10月6日、3月2日

1. 担当理事の交替

矢嶋 弘毅（博報堂D Yメディアパートナーズ） ⇒ 高坂 俊之（東急エージェンシー）

2. 委員の交替

吉田 達彦（大広） ⇒ 三上 智也（同社 東京BD本部長執行役員）

永井 聖士（電通） ⇒ 中村 光孝（同社 統括執行役員
メディア/スポーツ&エンターテインメント）

名倉 健司（博報堂） ⇒ 岩崎 秀昭（同社 取締役専務執行役員）

林 忠典（読売広告社） ⇒ 原 亘（同社 執行役員）

高品 宏仁（日本広告業協会） ⇒ 谷野 謙（日本広告業協会）

3. 委員長の交替

永井 聖士（電通） ⇒ 中村 光孝（同社）

4. 民放連「2025年日本民間放送連盟賞グランプリ審査員」推薦

民放連より同賞審査委員推薦の依頼を受け、メディア委員会委員2名を推薦した。

テレビ部門審査委員 佐藤 隆（東急エージェンシー）

ラジオ部門審査委員 岩崎 秀昭（博報堂）

5. 2025年度各委員会報告

テレビ委員会、ラジオ委員会、新聞委員会、雑誌委員会、交通広告委員会、インターネット広告委員会、メディア調査研究委員会、メディア業務改善委員会、また、CM素材オンライン運用推進プロジェクト、OOH新共通指標策定プロジェクトより、上半期の活動報告を10月6日に、下半期（年度）の活動報告を3月2日に受けた。

なお、2026年度以降は、交通広告委員会をOOH委員会に改組改称する。また、CM素材オンライン運用推進プロジェクトの事業をメディア業務改善委員会に移管し、OOH新共通指標策定プロジェクトは、2025年に一般社団法人日本OOHメジャメント協会が設立されたことをもって終了した。

・テレビ委員会（委員長：相坂勇人）

5月20日、7月10日、9月11日、12月2日、1月20日、3月10日

1. 委員の交替

山崎 久樹（I&S BBDO） ⇒ 新谷 広介（同社 メディアビジネスグループ
テレビラジオネゴシエーションチームマネジャー）

野田 祥永（ADKマーケティング・ソリューションズ） ⇒ 高野 與平（同社
メディアビジネス本部シニアメディアエグゼクティブ ディレクター）

久保 孝広（ジェイアール東日本企画） ⇒ 矢作 俊哉（同社 メディアコンテンツ本部
メディア局長）

都築 良治（日本経済広告社） ⇒ 佐藤 和宏（同社 メディア本部テレビ・ラジオ局長）

川上 純平（博報堂） ⇒ 広瀬 尚人（同社 メディアデザイン事業ユニット
テレビ・ラジオビジネス局局長シニアエグゼクティブ）

2. 副委員長の交替

川上 純平（博報堂） ⇒ 広瀬 尚人（同社）

野田 祥永（ADKマーケティング・ソリューションズ） ⇒ 高野 與平（同社）

3. 字幕付きCM普及推進協議会について

①字幕付きCMの放送割合調査について（2026年3月時点）

全素材タイプ数 6,861

字幕CMタイプ数 744

字幕CMタイプ比率（字幕タイプ総数／全素材タイプ総数）10.8%

字幕CM作成広告主 127社

日本ポストプロダクション協会（JPPA）字幕付きCM制作本数 2026年3月 = 323本

（対前年比 81.4%）

②字幕付きCM普及推進協議会 第11期 運営委員会

日 時 2026年1月30日（金）16時～17時

担務事務局 11期（2025年度） 日本広告業協会（JAAA）

12期（2026年度） 日本アドバイザーズ協会（JAA）

③字幕付きCM意見交換会の実施

日 時 2025年12月5日（金）14時～15時30分

場 所 民放連（千代田区）

参加者数 放送局 27名 20社

④PR活動

1) 全広連福井大会での字幕付きCM普及活動

日 時 2025年 5月15日（木）

場 所 フェニックス・プラザ（福井市）

2) 字幕付きCMセミナーの実施

日 時 2025年12月1日（月）14時～15時30分

主 催 字幕付きCM普及推進協議会

協 力 大阪広告協会、大阪アドバイジングエージェンシーズ協会

会 場 中之島セントラルタワー（大阪市）

参加者数 広告会社・制作会社 57名 35社

4. 放送確認書誤記載調査について

①2024年度下期 番組誤記載 69件 スポット誤記載 187件

②2025年度上期 番組誤記載 38件 スポット誤記載 150件

③放送確認ワーキンググループの開催

日 時 2025年 7月 8日（火）14時30分～15時30分

2025年 9月 4日（木）17時～18時

④イレギュラー対応業務の整理・標準化について

誤記載対応の際、局によって訂正発行や理由書対応の仕方や記載が統一されない問題がある。

そこで過去に発行した放送確認書発行のルールやその他の文書に準拠し、現場で参照しやすい

「訂正・再発行等のイレギュラー対応早見表（案）」を検討した。

5. 次世代放送確認書について

11月20日に、民放連主催「放送確認書次世代運用に関する全社説明会」をオンラインにて実施。

詳細は、メディア業務改善委員会にて記載。

6. テレビCM共同考査についての検討（一般社団法人テレビCM考査センター）について

「一般社団法人 テレビCM考査センター」が2026年4月から本格運用を開始した。

7. リアルタイム配信視聴動向について

在京5社同時配信サービス営業WGより、「TVerの現在地と今後の展望について」の最新動向

について説明を受けた。

8. 「無料BS放送におけるCM利用曲目報告」について

民放連からの広告会社への協力要請（楽曲情報提供と放送回数報告）について、民放連の提案する業務フロー等に関し、情報意見交換を行った。

9. テレビ広告懇談会（テレビ広告取引に関する民放連・JAAAの懇談会）の開催

①2025年度上期

日 時 2025年9月25日（木）

形 式 オンライン

②2025年度下期

日 時 2026年2月25日（水）

形 式 オンライン

内 容 字幕付きCM普及推進協議会報告、CM素材オンライン運用最新状況報告、放送確認書
次世代運用の検討、放送確認書誤記載調査報告等

・ラジオ委員会（委員長：木村直之）

5月13日、6月30日、2月2日

1. 委員の交替

都築 良治（日本経済広告社） ⇒ 澁谷 高洋（同社 メディア本部テレビ・ラジオ局
デジタル衛星ラジオ部ラジオルームリーダー）

2. ラジオCM旧基準素材の受け入れ終了日について

現行基準では、受け入れ終了日を2025年10月31日と予定していたが、放送局側より期限
延長の要望があり、2026年3月31日までを旧基準素材の搬入期限と定め、その旨を2025年
6月2日に民放連ウェブサイト上にてリリース、あわせて関係団体に周知した。

3. ラジオオンライン技術サブWGの実施

毎月実施。内容は次の通り。

- ・素材数/進行表オンライン件数の共有
- ・システム障害報告と対応の検討
- ・より円滑な素材搬入のため、RadiPosシステムの仕様改善

4. JIAA（日本インタラクティブ広告協会）デジタルオーディオ広告のフォーマットに関する推奨
規定の説明会実施

日 時 2025年 6月30日（月）

形 式 オンライン

説明者・出席者

<JIAA>

森 紀一郎（専務理事）

前地 雅人（エグゼクティブエキスパート）

中西 崇善（主任）

<デジタルオーディオ広告部会>

坂谷 温（座長／radiko 取締役プラットフォーム推進室長）

八木 太亮（座長補佐／オトナル 代表取締役社長）

千代反田繁（推進メンバー／博報堂 テレビラジオビジネス局

チーフメディアアカウントディレクター）

内 容 デジタルオーディオ広告の無音部分を、ラジオCM素材と同様の前後0.1秒以上~0.5秒以下と推奨。ラジオCM素材との相互利用がしやすくなると予想される。

5. JAAAラジオセミナーの実施

日 時 2025年 9月24日 (水)

形 式 オンライン

テーマ「radiko新体制のご挨拶と『radiko Ad』最新動向について」

講 師 池田 卓生 (radiko 代表取締役社長)

嶋 裕司 (radiko 取締役)

参加者数 73名 (JAAA会員社限定)

6. AM局の運用休止に係る特例措置 (2回目) に関する対応について

ワイドFM対応端末普及を目指す連絡会幹事局 (TBSラジオ・文化放送・ニッポン放送) より、「AM局の運用休止に係る特例措置」に関する文書を受領した (2024年2月の特例措置に続き2回目)。その後、8月8日に会員各社に周知を行った。

7. ラジオCM素材搬入基準一部変更について

2026年1月30日に、ラジオCM素材搬入基準の一部変更を実施した。変更内容は次の通り。

- ・無音部分の例外事項の追加
- ・旧素材の搬入終了時期の追記

8. ラジオCM素材搬入・進行表強化プロモーションについて

2026年2月に民放連と協働で、ラジオCM素材搬入・進行表強化プロモーションを実施、周知協力を行った。

・新聞委員会 (委員長：出光淑子)

2月18日

1. 委員の交替

川崎 秀樹 (朝日広告社) ⇒ 高美 太一 (同社 新聞局長)

小林 義明 (日本経済社) ⇒ 高波 誠二 (同社 メディア本部第一ソリューション局局长)

兼子 彰彦 (マッキンゼーエリクソン) ⇒ 佐野好市朗 (同社 新聞・出版ビジネス局長)

2. 2025年度の新聞広告掲載確認調査の結果報告と次年度以降の対応について

①2025年度新聞広告掲載確認

1) 日本新聞協会調査結果 (日本新聞協会会員社及びデイリースポーツの自社調査)

2025年度4月~12月 全件 (※) 問題なし

※全件=日本新聞協会会員全社 (95社) 及びデイリースポーツ

2) 第三者機関のモニタリング調査

・概要：第三者機関を選定し、日本新聞協会加盟新聞社を対象に年1回調査。調査紙、調査ターゲット広告及び実施日についてはJAAAで選定。

・調査概要と結果：

調査目的 指定広告主の広告が、指定調査日発行の新聞全版 (初版~最終版) に掲載されているかを確認

確認内容 ①広告主名 ②スペース (段数)

掲載調査日 2025年11月21日（金）

調査対象 全国紙、ブロック紙、地方紙、スポーツ紙 計116紙／181版

確認ターゲット広告数 355

調査実施機関 株式会社日本デイリー通信社

- ・調査結果 全ての広告掲載を確認

・雑誌委員会（委員長：前川昌子）

12月15日

1. 委員の交替

金原 亨（電通） ⇒ 庄司 泰輔（同社 出版ビジネス・プロデュース局長）

2. デジタルタイアップ価値証明プロジェクトについて

デジタルタイアップ広告市場の拡大のため、新指標の開発検討を含めた検討を開始した。

・交通広告委員会（委員長：青柳淳英）

10月31日、3月3日

1. 委員の交替

古澤 彰浩（オリコム） ⇒ 岡本 光郎（同社 OOHメディアプロデュース局局長）

三池 元（電通） ⇒ 櫻井 順（同社 OOHビジネス室室長）

若菜 春孝（東急エージェンシー） ⇒ 鈴木 一哉（同社 事業共創本部OOHメディア局
局長）

2. 副委員長の交替

古澤 彰浩（オリコム） ⇒ 岡本 光郎（同社）

3. 日本鉄道広告協会（JAFRA）「2025年度交通広告共通指標推進プロジェクト」結果報告会 同報告会を3月3日の委員会にて実施した。

4. 交通広告セミナーの実施

日 時 2026年3月19日（木）16時～17時

形 式 オンライン

対 象 JAAA会員社

内容・登壇者<第一部「広告主視点のOOH活用戦略」>

鈴木 佑衣（花王）

<第二部「OOHメジャメントの整備と今後の展望」>

日本OOHメジャメント協会（JOAA）メンバー

星野 一道（東急エージェンシー）

名雲王治郎（博報堂D Yホールディングス）

5. 「交通広告委員会」から「OOH委員会」への名称変更について

2026年度より、上記の名称に委員会名を改組改称する。

・インターネット広告委員会（委員長：石川直樹）

4月3日、7月2日、2月16日

1. 委員の交替

瀧本 恒（電通デジタル） ⇒ 荻島 裕樹（同社 プラットフォーム部門部門長）

寺内 研二（日本経済社） ⇒ 大友 千江（同社 メディア本部

第2メディアソリューション局局長）

星合 知長（Hakuhodo DY ONE） ⇒ 岡部 耕司（同社 執行役員）

永田 啓介（マッキンゼーエリクソン） ⇒ 佐藤 充（同社 Magna本部（媒体本部）

メディアビジネス推進局長）

2. 総務省『デジタル広告の適正かつ効果的な配信に向けた広告主等向けガイダンス』

オンライン説明会の実施（「4. 事務局運営報告に記載」）

3. JICDAQ（一般社団法人デジタル広告品質認証機構）ANNUAL REPORT 2025（周年記念）

日 時 2025年12月 1日(月) 17時～18時

会 場 如水会館（千代田区）

プログラム及び登壇者

- ・ JICDAQの現状と今後

森 紀一郎（JICDAQ理事／JIAA専務理事）

- ・ 講演「デジタル広告から考える民主主義の未来」

水谷瑛嗣郎（慶應義塾大学 メディア・コミュニケーション研究所准教授）

- ・ 閉会挨拶

池田 剛（JAAA常務理事）

4. JICDAQ合同アクション「JICDAQ認証事業者インタビュー」

JICDAQを創設した3団体（JAA、JIAA、JAAA）で、各団体会員社兼JICDAQ認証事業者（JAAは登録アドバタイザー）にインタビューを実施し記事化した。

5. 「アドテック東京2025」セッション企画について

アドテック東京2025でのJAAAプレゼンテーションについて下記の内容で実施した。

タイトル 『AI×Human - Creative Crossover-』

日 時 2025年10月24日（金） 12時～12時40分

会 場 東京ミッドタウンB1F Exhibition Stage2

ファシリテーター 西村 大輔（委員／東急エージェンシー）

パネラー 永田 芽衣（I&S BBDO）、根本怜太郎（電通デジタル）、森澤 敦史（東急エージェンシー）、天野 豪紀（日本経済社）、高田 滉平（Hakuhodo DY ONE）

6. 第7回 海賊版サイトへの広告出稿抑制に関する合同会議

日 時 2026年2月10日（火） 15時～16時

形 式 オンライン

参加団体 コンテンツ海外流通促進機構（CODA）、JAA、JAAA、JIAA、経済産業省、文化庁、日本動画協会 ※JAAAからは石川委員長と事務局が参加

主な議題・「著作権侵害に関する要警戒リスト（CODAリスト）」の運用状況について

- ・ 海賊版サイトへの広告出稿抑制に関する意見交換

・メディア調査研究委員会（委員長：河村徹生）

6月3日、9月5日、2月17日

1. 委員の交替

一文字 守（電通） ⇒ 朴 泰輝（同社 MCトランスフォーメーション局
メディア・コンテンツ・データ開発部部長）

2. 副委員長の交替

一文字 守（電通） ⇒ 朴 泰輝（同社）

3. ビデオリサーチ社ヒアリング

下記についてビデオリサーチ社より説明を受け以下の意見交換を行った。テレビ・デジタル動画における統合指標についても継続して検討を行う。

- ① R&F パラメータ更新について（2025 年度より採用）
- ② 「STREAMO（CTV 利用実態計測）」について
- ③ 熊本地区視聴エリア拡大について

・メディア業務改善委員会（委員長：井上聡）

2月19日

1. 委員の交替

平澤 俊哉（東急エージェンシー） ⇒ 塩谷 広長（同社 メディアソリューション本部
メディア戦略部部長）

2. CM素材オンライン運用の状況について

CM素材オンライン運用開始済186局中、137局のクラウド化を昨年度に完了し、その後のトラブルもなく安定運用に至った旨の報告を行った。

3. 放送確認書のデジタル化の検討について

放送確認書「次世代運用」に関する全社説明会(放送局向け)を実施した。

日 時 2025年11月20日(木)14時30分～15時30分

主 催 日本民間放送連盟営業委員会

形 式 オンライン

申込者 207社(テレビ社109社、ラジオ社67社、ラテ兼営31社) 720名

4. CM素材オンライン運用推進プロジェクトの終了、以降の業務移管について

テレビCMのオンライン送稿に関する運用推進を目的として同プロジェクトを6委員会横断で、2014年より活動を開始し、2017年10月にテレビCMのオンライン運用を実現した。導入から安定運用までを達成したと判断し、本プロジェクトの終了を決定、今後の事業はメディア業務改善委員会に移管する。

・CM素材オンライン運用推進プロジェクト（リーダー：井上聡）

1. CMDeCo送受信サーバークラウド移行による転送速度向上について

2024年11月、民放連加盟の全137局の送受信サーバーのクラウド移行が完了し、その後の性能評価を行った。最繁忙の日でも、搬入完了までの所要時間が大幅に短縮されており、オンライン送稿処理全体の効率化・安定化を確認した。

2. 活動の移管

2026年3月31日をもって、メディア業務改善委員会に事業を移管する。

・OOH新共通指標策定プロジェクト（日本版OOHメジャメント標準化検討準備委員会）

1. 会議の実施（第14回意思決定者会議）

日 時 2025年9月8日（月）

その他、毎週の「運営・資金調達ワーキンググループ」、「技術ワーキンググループ」の定例会開催の他、集中討議の会議を計10回開催した。これらの会議にて、新団体設立へ向けての定款作成、会費設定、会員獲得方法、データ整備・提供に関する検討を行った。

2. 新団体の設立

①コロナ禍をきっかけに顕在化したOOH広告の効果測定課題を解決するため、業界横断で「業界標準メジャメントデータの策定」を目的とした新団体「一般社団法人日本OOHメジャメント協会（JOAA）」を、2025年9月18日（火）に設立し、13社連名でプレスリリースを発表した。データ生成は NTTドコモ、Unerry、AllUnite、ブログウォッチャーが担い、2026年春にデータ提供開始予定。事務局運営はビデオリサーチが担い、委員会運営・データ検証・メジャメント基準の整備を統括する。

②設立理事・監事（※設立時）

理事長 石川 明彦（ジェイアール東日本企画）

副理事長 林 朗子（電通）

石川 直樹（博報堂）

マリック ルマーヌ（エムシードゥコー）

理 事 中村 洋志（ADKマーケティング・ソリューションズ）

山口 伸介（NKB）

岡本 光郎（オリコム）

池谷 裕志（協立広告）

櫻井 順（電通）

高橋 隆晃（博報堂）

渡仲 容子（エムシードゥコー）

星野 雅央（ジェイアール東日本企画）

遠藤 正行（東急エージェンシー）

安吉 康治（パス・コミュニケーションズ）

古川 守（メトロアドエージェンシー）

高木 智広（LIVE BOARD）

中島 聡（日本アドバタイザーズ協会）

高品 宏仁（日本広告業協会）

監 事 柳沢 和志（東急エージェンシー）

小木 真（ビデオリサーチ）

③セミナーの実施

テーマ 第3回OOH統合キャンペーン実証実験効果測定調査報告説明会／
一般社団法人日本OOHメジャメント協会（JOAA）設立説明会

日時 2025年10月28日（火）

プログラム 第一部 OOHの質的価値の探求

第三回OOH統合キャンペーン実証実験効果測定調査報告

報告者 名雲王治郎（博報堂DYホールディングス）

第二部 OOH媒体の業界共通指標の策定

一般社団法人日本OOHメジャメント協会（JOAA）設立の件

パネラー 波多野友美（NKB）

渡仲 容子（エムシードウコー）

名雲王治郎（博報堂DYホールディングス）

参加者 228名

3. 活動の終了

2025年の一般社団法人日本OOHメジャメント協会（JOAA）の設立をもって、OOH新共通指標策定プロジェクトを終了した。

◆クリエイティブ委員会（担当理事：菊地英之 委員長：藤井久）

6月30日、10月17日、3月10日

1. 委員の交替

山極 和弘（朝日広告社） ⇒ 武田 真介（同社 IMCエクスペリエンス本部
クリエイティブ局長）

岩淵 英介（読売広告社） ⇒ 竹中 愛（同社 執行役員）

2. 2024年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞発表・表彰報告

①発表 第343回理事会（2025年3月24日）の承認後、発表。

②表彰 2025年度定時総会・表彰式にて表彰（2025年5月30日）。

③特集冊子の発行

発行日 2025年 5月30日

印刷部数 5,700部

配布先 会員各社、関係団体等、各地講演会参加者に配布

3. 2024年クリエイター・オブ・ザ・イヤー受賞者講演について

各地広告業協会との受賞者講演を全国で開催、2025年度のコーディネーターは松井亘平委員（I&S BBDO）が担当した。

①【名古屋】第75回名広協クリエイティブ研究会

日時 2025年 7月 9日（水）14時～16時30分

会場 JPタワー名古屋ホール&カンファレンス

講演者 宮永 充晃（博報堂）、原田 堅介（ADKマーケティング・ソリューションズ／
CHERRY）、花田 礼（電通）

参加者 97名

- ②【東京】第88回JAAAクリエイティブ研究会
日時 2025年9月10日(水) 13時～15時30分
会場 時事通信ホール(中央区)
講演者 宮永 充晃(博報堂)、石塚 啓(電通デジタル)、
原田 堅介(ADKマーケティング・ソリューションズ/CHERRY)
参加者 154名
- ③【北海道】第44回HAAAクリエイティブ研究会
日時 2025年10月2日(木) 13時30分～16時
会場 札幌グランドホテル(札幌市)
講演者 宮永 充晃(博報堂)、石塚 啓(電通デジタル)、小野寺正人(チョコレート)
参加者 71名
- ④【大阪】第44回OAAAクリエイティブ研究会
日時 2025年10月21日(火) 14時～16時40分
会場 大阪大学中之島センター(大阪市)
講演者 宮永 充晃(博報堂)、松田 脩(電通東日本)、春山 豊(九州博報堂)
参加者 84名
- ⑤【福岡】第41回JAAAクリエイティブ研究会・福岡
日時 2025年11月13日(木) 18時～20時30分
会場 エルガーラホール(福岡市)
講演者 宮永 充晃(博報堂)、星 聡宏(ADKマーケティング・ソリューションズ)、
山口 千乃(TBWA HAKUHODO)
参加者 350名
- ⑥【静岡】第21回SAAAクリエイティブ研究会
日時 2025年12月5日(金) 13時30分～16時
会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」(静岡市)
講演者 宮永 充晃(博報堂)、杉山 芽衣(博報堂)、尾上 永晃(電通)
参加者 242名
- ⑦【仙台】仙台クリエイティブ研究会 *個別派遣依頼に対応
日時 2025年11月11日(火) 14時～15時30分
会場 せんだいメディアテーク(仙台市)
講演者 宮永 充晃(博報堂)
参加者 113名
- ⑧【山形】山形県広告業協会・YAAA広告セミナー *個別派遣依頼に対応
日時 2026年1月29日(木) 14時～17時30分
会場 ホテルメトロポリタン山形(山形市)
講演者 宮永 充晃(博報堂)、杉山 芽衣(博報堂)
参加者 90名

⑨【2025年度会員代表者懇談会】

日 時 2025年12月 9日（火）17時～19時30分

会 場 帝国ホテル（千代田区）

講演者 宮永 充晃（博報堂）

テーマ「拡張するクリエイティブ」

参加者 56名

4. アドミュージアム東京 ライブラリー展示について

タイトル「2024年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者たちによる『ボクらの登書記（としよき）』」

期 間 2026年1月9日（金）～3月28日（土）

場 所 アドミュージアム東京（港区）

概 要 2024年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者の「青春時代に影響を受けた本」と「いま読んでいる本」を紹介

制作物 企画タイトルポスター、賞説明パネル、書籍展示のPOP等

制作担当 日本経済社

5. 2025年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞について

①募集期間 2025年12月1日（月）～2026年1月30日（金）

②審査委員長 松井 亘平（I&S BBDO）

③審査員 武田 真介（朝日広告社）

細川 万理（ADKマーケティング・ソリューションズ）

大内健太郎（クオラス）

浅井 芳樹（三晃社）

長谷川羊介（ジェイアール東日本企画）

石井 智（第一通信社）

濱 弘幸（大広）

薄 景子（電通）

堀内有為子（東急エージェンシー）

朝比奈 綾（日本経済社）

佐々木貴子（博報堂）

蔵田 泰明（マツキャンエリクソン）

竹中 愛（読売広告社）

④ 2025年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞審査員顔合わせ会の実施

日 時 2026年1月28日（水）14時30分～15時30分

場 所 時事通信ビル 9階会議室

⑤2025年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞プレ審査会

日 時 2026年2月24日（火）10時30分～11時30分

場 所 時事通信ビル 9階会議室

⑥2025年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞審査会

日 時 2026年3月10日（火）13時30分～15時45分

会 場 マイナビPLACE歌舞伎座タワー29階会議室

⑦審査について

25名（17社）のノミネートがあり、審査員には事前に「審査資料」「応募動画」を展開、事前審査シートの提出を依頼した。審査会当日は、事前審査シートの集計結果をもとに協議を行い、クリエイター・オブ・ザ・イヤー1名、クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト9名を選出した。第349回理事会後に発表し、5月29日に開催される定時総会後の表彰式にて表彰を執り行う。

6. 日本広告業協会広告倫理綱領（倫理綱領、クリエイティブコード）の見直し

クリエイティブ委員会の中から同倫理綱領とクリエイティブコードの見直しを行うワーキンググループを組成し改定案を作成した。

◆マネジメント委員会（担当理事：中島明美）

1. 担当理事の交替

高坂 俊之（東急エージェンシー） ⇒ 中島 明美（オリコム）

・人材育成委員会（委員長：太田理奈子）

7月9日、12月15日、3月18日

1. 委員の交替

近藤しほ美（I&S BBDO） ⇒ 鹿野 和夫（同社 チーフファイナンシャルオフィサー）

⇒ 高澤 正行（同社 営業推進／秘書・広報グループ・ディレクター）

松澤 美穂（電通コーポレートワン） ⇒ 白石幸太郎（同社 HRマネジメント室

人事オフィス育成部部长）

庄司由美子（東急エージェンシー） ⇒ 達林 裕介（同社

コーポレート本部人事局人材開発部ディレクター）

寺内 研二（日本経済社） ⇒ 田中 依子（同社 採用・人材開発室 部長）

太田理奈子（読売広告社） ⇒ 篠田 孝介（同社 グループ人事局 能力開発部 部長）

2. 委員長の交替（2026年度～）

太田理奈子（読売広告社） ⇒ 雑賀 啓介（三晃社）

3. 2025年度 第52回新入社員教育セミナーについて

人材育成委員会から推薦された講師により、下記の科目をオンラインで講義を行った。

日 時 2025年4月8日（火）～ 11日（金） 4日間

形 式 講義をオンライン（Zoom）で、グループディスカッションを機械振興会館（港区）にて実施

科 目 基調講義、営業、コミュニケーションプランニング、クリエイティブ、メディアプランニング、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネット広告、PR戦略、プロモーション、OOH、広告関連法規、グループディスカッション（※今回よりPR戦略を新設）

受講料 44,000円（資料含む）

参加者 113名（24社）

4. 第30回フォローアップセミナー実施報告

2025年4月の新入社員教育セミナーの受講者を主な対象に、入社半年後のフォローアップとして実施。

日 時 2025年11月 6日（木）～11月 7日（金）10時～16時30分

会 場 機械振興会館（港区）

テーマ「自分のキャリアをどう築いていくのかを考える」

構 成 [1日目] 個人&グループワーク、先輩社員とのディスカッション

[2日目] 個人&グループワーク、講師によるフィードバック

講 師 山本 幸治（一般社団法人プロティアン・キャリア協会

プロティアン認定ファシリテーター）

先輩パネラー 町田 裕磨（ジェイアール東日本企画）

川合 京平（オリコム）

小原 幸恵（読売広告社）

参加費 33,000円（1名）

参加者 12社 50名

5. 「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」周知について 標記条例について会員各社に周知を行った。

・広告ビジネス入門発行委員会（委員長：恒川洋一）

1月14日、3月11日

1. 委員の交替

庄司由美子（東急エージェンシー） ⇒ 達林 裕介（同社 コーポレート本部人事局

人材開発部ディレクター）

2. 広告ビジネス入門第26版の執筆分担と編集について

2026年9月発行予定の新版（第26版）についての作業を開始した。

・懸賞論文委員会（委員長：中村信介）

4月21日、10月8日、3月12日

1. 委員の交替

水科 宗作（オリコム） ⇒ 西村 雅子（同社

マーケティングコミュニケーションデザイン局マーケティングディレクター）

吉野 究（大広） ⇒ 清水 純（同社 GrowthXユニットソーシャルデザイングループ

マーケティングディレクター）

小方 靖（東急エージェンシー） ⇒ 井上友香理（同社 事業共創本部

商空間クリエイション局第2開発部部長）

中西 知行（フロンテッジ）

⇒ 小里 玄（同社 ソリューションクリエイティブディビジョン

エグゼクティブストラテジックプランニングディレクター）

2. 委員長の交替

委員長 中村 信介（読売広告社）

3. 第54回懸賞論文入賞・入選 発表・表彰報告

- ①発表 第343回理事会（2025年3月24日）の承認後、発表。
- ②表彰 2025年度定時総会・表彰式にて表彰（2025年5月30日）。
- ③特集冊子（入賞・入選作品集）の発行
発行日 2025年5月30日
印刷部数 4,400部
配布先 会員各社、関係団体等に配布

4. 第55回懸賞論文募集・審査について

- ①募集ビジュアルについて
制作担当社 読売広告社
募集コピー「世界も私も変わってる。」
- ②審査スケジュール
募集期間 2025年 6月 2日（月）～ 9月30日（火）
審査スケジュール 第1次審査 2025年10月中旬～2026年1月中旬
第2次審査 2026年1月下旬～2026年2月下旬
最終審査 2026年2月26日（木）・2026年2月27日（金）

③広報施策

1) 新人座談会の実施

第54回新人部門入選・ファイナリストを招き、座談会を次の通り実施した。また新人部門応募者をメインターゲットとし、応募促進を図った。

日 時 2025年6月9日（月）

形 式 オンライン

ファシリテーター 河尻 亨一（編集者／銀河ライター主宰）

登壇者 木村 瑳月（博報堂）

高田倫太郎（日本経済広告社）

河野 瑞夏（電通）

井本 将来（九州博報堂）

川瀬あゆみ（博報堂）

参加者 114名

2) エントリー説明会の実施

入賞、入選者による「受賞へ向けたヒント」によるエントリー説明会をウェビナーで次の通り開催した。

日 時 2025年7月4日（金）

形 式 オンライン

スピーカー 福永 琢磨（電通／金賞）

柚木 夏希（朝日広告社／一般部門）

木村 瑳月（博報堂／新人部門）

参加者 108 名

3) 受賞者座談会の実施

第54回論文入賞者を招き、座談会を実施した。

日 時 2025年8月7日（木）15時～16時30分

形 式 オンライン

ファシリテーター 河尻 亨一（編集者／銀河ライター主宰）

登壇者 福永 琢磨（電通／金賞）

小糸 和夫（電通／銅賞）

鈴木 崇太（電通デジタル／銅賞）

参加者 116 名

4) 「JAAA 懸賞論文珠玉のワンフレーズ」の実施

期間中の応募促進策として、公式Xにて第54回入賞・入選・ファイナリストの作品より、懸賞論文委員が選んだワンフレーズを定期的にポストした（2025年8月4日～9月12日）。

⑤ 第55回懸賞論文応募状況

論 文 50編

一般部門 第1テーマ 26編

一般部門 第2テーマ 14編

一般部門 第3テーマ 15編

新人部門 183編

特別部門 10編

プレゼン動画部門 3編

応募総数 301編（参考 第54回 288編）

⑥ 審査結果

2026年2月26日（木）、2月27日（金）に最終審査会を実施、受賞者9名（9編）、ファイナリスト32名を選出した。第349回理事会後に発表し、5月29日に開催される定時総会後の表彰式にて表彰を執り行う。

<入賞> 論文 金賞 1編、銀賞 1編、銅賞 1編

<入選> 私の言いたいこと

一般部門 第1テーマ 該当なし、第2テーマ 該当なし、第3テーマ 1編

新人部門 3編

プレゼン動画部門 1編

特別部門（他業界経験者からの視点） 1編

5. 受賞者講演

2025年度会員代表者懇談会

日 時 2025年12月9日（火）17時～19時30分

会 場 帝国ホテル（千代田区）

講演者 福永 琢磨（電通／金賞）

テーマ「広告業をいかに社会化していくか～私たち自身のJXについて～」

参加者 56名

・海外交流委員会（委員長：渡辺学）

4月10日、2月9日

1. 委員の交替

齊藤 恵子（ADKホールディングス）

⇒ 竹節 珠加（ADKマーケティング・ソリューションズ グローバルプロジェクト開発局）

下山 謙和（大広） ⇒ 紅露 晋作（同社 ビジネス戦略本部ビジネス統括局

海外ビジネス推進部 部長）

熊谷 英一（日本経済社） ⇒ 吹野 弘明（同社 ストラテジック・ソリューション本部

コーポレートコミュニケーション戦略センター センター長）

2. 2025年度 海外派遣企画の中止について

2026年1月6日（火）～1月11日（日）の期間で「CES2026研修ツアー（米国ネバダ州ラスベガス）」を予定していたが、最小催行人数に届かず中止とした。

3. JAAA海外セミナーの実施

①「カンヌゴールドまでの500日。」

日 時 2026年 3月 5日（木）16時～17時

形 式 オンライン

講 師 石塚 啓（電通デジタル／クリエイティブディレクター コピーライター）

参加者 122名

②「CES2026報告会 ～”生活者×テクノロジー”が描く次の広告ビジネス～」

日 時 2026年 3月18日（水）16時～17時

形 式 オンライン

講 師 山本 泰士（博報堂 メディア環境研究所所長）

朝本 美波（博報堂 メディア環境研究所研究員）

参加者 182名

・イノベーション委員会（委員長：水津龍治）

3月23日

1. 委員の交替

佐取 亜紀（朝日広告社） ⇒ 芥川 正翔（同社 経営企画室）

田邊 敬詞（ジェイアール東日本企画） ⇒ 大熊 仁（同社 社会事業・再生推進室統括）

綿野 崇（東急エージェンシー） ⇒ 仲野 大輔（同社 コーポレート本部経営企画局

経営企画部部長）

岡本 茂（博報堂） ⇒ 荒川 有輝（同社 アカウント統括室グループマネージャー）

白崎 薫（マッキンゼーエリクソン） ⇒ 佐藤 有途（同社 アートディレクター）

篠田 孝介（読売広告社） ⇒ 佐々木亜弓（同社 キャリアデザイン局能力開発部部長）

2. 委員長の交替

委員長 水津 龍治（大広 ※第13回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞

（JAAA若手大賞）」審査委員長）

3. 第13回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」について

①JAAA若手大賞ワーキングメンバーの交替

北野 真惟（I&S BBDO） ⇒ 永田 芽衣（同社）
安井 優太（I&S BBDO） ⇒ 渡邊 千久（同社）
勝山 葉月（ADKマーケティング・ソリューションズ） ⇒ 森 千夏（同社）
片岡龍太郎（朝日広告社） ⇒ 久田 萌（同社）
上ノ町昌暉（朝日広告社） ⇒ 日裏 薫（同社）
武田 陸（ジェイアール東日本企画） ⇒ ニツ橋和樹（同社）
小林 亮太（ジェイアール東日本企画） ⇒ 松野 十（同社）
渡辺 涼雅（大広） ⇒ 吉田 新（同社）
福島 陽（電通） ⇒ 濱田 陽平（同社）
中村 彩梨（電通） ⇒ 遠山 若菜（同社）
山本江美奈（東急エージェンシー） ⇒ 森澤 敦史（同社）
白坂 太秀（博報堂） ⇒ 山村 健人（同社）
徳岡 淳司（ハッピーアワーズ博報堂） ⇒ 内山 智義（同社）
前田 香織（マツキャンエリクソン） ⇒ 塚田 優津（同社）
児玉 夢雅（読売広告社） ⇒ 武田 莉久（同社）

②募集・審査・発表

- 1) 募集期間 2025年10月1日（水）～10月31日（金）
- 2) 応募総数 158点
- 3) 審査会 第1次審査会 2025年11月18日（火）
第2次審査会 2025年12月18日（木）
最終審査会 2025年12月22日（月）
- 4) 審査結果 優秀賞5件、ファイナリスト7件（※大賞は辞退）

・PR委員会（委員長：山崎正道）

6月27日、1月19日

1. 委員の交替

伊藤 英理（ADKホールディングス） ⇒ 内山 早織（同社 経営企画本部グループ広報局
PRマーケティンググループ）
高橋 俊樹（電通東日本） ⇒ 小旗 伸五（同社 CXソリューション局
PRソリューション部）
高山 慶子（東急エージェンシー） ⇒ 寺本 麻紀（同社 コーポレート本部
コーポレートブランディング局広報部）

2. 日本広告業協会創立75周年記念企画の件（「4. 事務局運営報告にも記載」）

テーマ『日本広告業協会創立75周年記念事業 「おい、広告。」叱咤激励インタビュー』

概要 様々な業界で活躍する著名人たちから、現在の広告の問題点、広告の可能性・クリエイティビティの活かし方について「叱咤激励」をいただき、広告の未来への気づきを得ていくプロジェクト。

実施時期 2026年1月23日（金）～1年間

実施形式 インタビュー内容を記事化し、JAAAウェブサイト内特設ページに掲出。一部期間限定で屋外広告を掲出した。

・会報編集委員会（委員長：高澤正行）

8月21日、11月12日、1月14日

1. 委員の交替

千田 恵梨（大広） ⇒ 高山 孟範（同社 広報局 COCAMP編集部）

⇒ 片倉 淳子（同社 広報局広報部）

泉 亜紀子（東急エージェンシー） ⇒ 高山 慶子（同社 コーポレート本部

コーポレートブランディング局広報部 部長）

谷 佳詩子（双葉通信社） ⇒ 芝 直純（同社 営業推進部次長）

佐々木亜弓（読売広告社） ⇒ 関原 桃子（同社 総務局広報部 担当部長）

2. 会報「JAAA REPORTS」完全ウェブ化について

2026年4月からの標記会報完全ウェブ化に向けて、コンテンツの構成やレイアウトについて議論した。

<2026年度シリーズテーマ>

継続企画・ひと・こと（4月・7月・10月・1月の年4回）

・コンプライアンス時代の法律知識

（「知ってトクする！ 広告人のための法律知識」ブラッシュアップ版）

・組織におけるAI活用術

・Fresh eye

・WORLD REPORT

・アドパーソンがお勧めする、読んでおくべき本

・進化する令和シニアのスマートライフ

新設企画・若者像へのヒントを合わせてみた。

・広告業界のいま・これから

・「わが社のサステナ！」

・DE&I委員会（委員長：口羽敦子）

7月28日

1. 委員の交替

半澤絵里奈（電通グループ/dentsu Japan） ⇒ 杉山 優（電通コーポレートワン

人事オフィスプロジェクト推進部）

庄司由美子（東急エージェンシー） ⇒ 達林 裕介（同社 コーポレート本部人事局

人材開発部ディレクター）

2. 委員の退任

栗崎 詩菜 (ADKマーケティング・ソリューションズ)

菅原 智華 (オプト)

福井淳一郎 (大広)

3. 「HR/DE&I担当者のためのプライドラウンドテーブル」実施について

日 時 2025年6月30日(月) 13時30分~15時

会 場 電通(港区)

プログラム ①LGBTQ+に関する人事的な取り組みについて事例紹介

②広告会社で働く複数の当事者による「職場におけるLGBTQ+」セッション

③テーブルごとのQ&Aやディスカッションの実施

4. イベント実施協力

下記イベントにDE&I委員会として協力した。

①テーマ 『『広告とLGBTQ+』からより良いクリエイティブ制作を一緒に考える』

日 時 2025年12月5日(金)

会 場 電通(港区)

プログラム ①『『広告とLGBTQ+』に関する紹介

②講師講演 松岡 宗嗣(一般社団法人fair代表理事)

③Q&A及びディスカッション

参加人数 29名

4. 事務局運営報告

(1) 入会

・2025年4月1日付

株式会社ビー・ブレーブ

・2025年5月1日付

株式会社VOSTOK NINE

(2) 会員社社名変更

・2025年4月1日付

株式会社オリコミサービス ⇒ 株式会社evolia(エヴォリア)

株式会社アイレップ ⇒ 株式会社Hakuhodo DY ONE

・2025年6月1日付

株式会社HELIOS(エリオス) ⇒ 株式会社CCG SEE(シーシージー シー)

(3) 退会

- ・ 2025年9月30日付
株式会社T&Tアド
- ・ 2026年3月31日付
株式会社エイムクリエイツ
株式会社三和広告社
株式会社モメンタム ジャパン

(4) 2025年度会員代表者懇談会

会員代表者による代表者懇談会を下記のテーマによる講演と着席buffetにて開催した。

日 時 2025年12月9日(火) 17時～19時30分

会 場 帝国ホテル 本館4階・桜の間

講 演 ・「広告業をいかに社会化していくか ～私たち自身のJXについて～」

福永 琢磨 (第54回懸賞論文金賞入賞/電通)

・「拡張するクリエイティブ」

宮永 充晃 (2024年クリエイター・オブ・ザ・イヤー/博報堂)

参加者 56名

(5) 全国広告業団体連絡会議

- ・ 令和6年度後期情報連絡会を、5月9日に時事通信ビルにて、加盟22団体の内17団体が参加して開催。各団体现況報告を中心に情報交換を行った。
- ・ 令和7年度理事会・総会・前期情報連絡会を、10月10日にコートヤード・マリオット銀座東武ホテルにて、13時30分より加盟22団体の内17団体が参加して開催。各団体现況報告を中心に情報交換を行った。また、17時30分からの理事会・総会では、第1号議案「令和6年度事業報告並びに収支決算報告承認の件」、第2号議案「令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件」が承認された。

(6) 広告料金表2025年版の発行と発行終了について

- ・ 「新聞広告料金表2025年版」

発行日 2025年7月1日

版 形 B6判横 267頁

印刷部数 1,250部

頒布価格 会員1,650円(税込) 一般3,300円(税込)

- ・ 「放送広告料金表2025年版」

発行日 2025年10月1日

版 形 A5判横 175頁

印刷部数 1,000部

頒布価格 会員1,650円(税込) 一般3,300円(税込)

- ・ 近年のデジタル化等に伴う販売部数の減少や、印刷コストの増大等の状況に鑑み、1957年

(昭和32年)より発行してきた新聞広告料金表、並びに放送広告料金表を、2025年度をもって終了する。

(7) 令和8年広告界合同年賀会

日 時 2026年1月7日(水) 15時30分～17時
会 場 帝国ホテル 孔雀の間(千代田区)

(8) 総務省「デジタル空間における情報流通の諸課題への対処に関する検討会」

1. デジタル広告ワーキンググループについて

- <第9回> 2025年5月9日(金)
- <第10回> 2025年5月27日(火)
- <第11回> 2025年6月10日(火)
- <第12回> 2025年6月26日(木)
- <第13回> 2025年9月10日(水)
- <第14回> 2025年11月6日(水)

形 式 オンライン

総務省の依頼を受け、標記の会合に2024年12月の第4回から参加、デジタル広告市場における広告の品質確保の取り組みについて、関係団体からのヒアリングや情報の共有、課題の整理等を行なっている。

2. 総務省『デジタル広告の適正かつ効果的な配信に向けた広告主等向けガイダンス』

オンライン説明会の開催

総務省より6月9日に発表された標記『デジタル広告の適正かつ効果的な配信に向けた広告主等向けガイダンス』について、関係団体との共催で次の通り説明会を実施した。

日 時 2025年6月16日(月) 13時30分～15時30分

形 式 オンライン

共 催 総務省、有限責任監査法人トーマツ(事務局)、日本アドバタイザーズ協会(JAA)、日本広告業協会(JAAA)、日本インタラクティブ広告協会(JIAA)、デジタル広告品質認証機構(JICDAQ)

参加費 無料

プログラム 第1部: ガイダンスの趣旨説明

説明者 吉田 弘毅(総務省)

第2部: パネルディスカッション

パネリスト 吉田 弘毅(総務省)

板橋万里子(花王)

西田 健(キャノンマーケティングジャパン)

清家 直裕(ADKマーケティング・ソリューションズ)

モデレーター 小出 誠(JICDAQ)

第3部: JICDAQ活動紹介

説明者 小出 誠(JICDAQ)

参加者 729名

3. 総務省 関係団体共催セミナー「デジタル広告のリスク対策の実践－知識から行動へ、総務省ガイダンスの活用と実務課題の乗り越え方－」の開催

日 時 2026年 2月27日（金） 15時～16時30分

形 式 オンライン

共 催 総務省、有限責任監査法人トーマツ（事務局）、日本アドバタイザーズ協会（JAA）、日本広告業協会（JAAA）、日本インタラクティブ広告協会（JIAA）、デジタル広告品質認証機構（JICDAQ）

参加費 無料

プログラム 第1部：ガイダンスの趣旨説明

説明者 荒井 陽一（総務省）

第2部：パネルディスカッション

パネリスト 平池 綾子（資生堂ジャパン）

山名 敏雄（日本航空）

清家 直裕（ADKマーケティング・ソリューションズ）

モデレーター 小出 誠（JICDAQ）

第3部：JICDAQ活動紹介

説明者 小出 誠（JICDAQ）

参加者 297名

（9）「パートナーシップ構築宣言」の更新

事業者が、サプライチェーン全体の付加価値向上や大企業と中小企業の共存共栄を目指し、「発注者」側の立場から宣言する「パートナーシップ構築宣言」について、2026年1月29日に更新を行った。同宣言は2022年6月1日に行っているが、2026年1月1日に「下請法」が「中小受託取引適正化法（取適法）」として改正・施行されたことに伴い更新した。

（10）「脱炭素化研究会」の活動

カーボンニュートラルについての算定ルールやツールの策定等を目的に活動した。また、2026年度より、「脱炭素化委員会」に改組改称する。

1. 研究会の実施

第6回 2025年 4月24日（木） 第10回 2025年12月18日（木）

第7回 2025年 5月22日（木） 第11回 2026年 1月22日（木）

第8回 2025年 6月26日（木） 第12回 2026年 2月19日（木）

第9回 2025年11月13日（木） 第13回 2026年 3月19日（木）

2. 排出量算定ツール（カーボンカリキュレーター）検証会実施

日本アド・コンテンツ制作協会（JAC）との共催で、カーボンカリキュレーターのテスト版についての検証会を実施した。

<第1回> 2025年 6月5日（木）

参加者 71名（※ハイブリッド開催。脱炭素化研究会メンバー社及びJAC会員社）

<第2回> 2025年 9月19日（金）

参加者 60名（※ハイブリッド開催。脱炭素化研究会メンバー社及びJAC会員社）

3. カリキュレーター共同開発に関するリリースの発信

2025年12月17日に、JACと日本イベント産業振興協会（JACE）との連名で、「広告・マーケティング業界におけるカーボンカリキュレーター共同開発を始動」というリリースを発信した。

4. 「広告業界の脱炭素化に向けた取り組みに関する説明会」の開催

2026年3月4日（水）にJAAA会員社および全国広告業団体向けに研究会の活動の一環として、標記の説明会を開催した。

5. 関係団体との情報共有・連携等

研究会の他に、随時リーダーレベルのミーティングと、JAC、JACEとの情報共有会議を実施した。また、JAAに対しては、2025年5月8日に情報共有会議を、2026年1月28日にJAA理事に対し、広告業界の脱炭素化に向けた取り組み状況についての説明を実施、3月26日にJAAサステナブル・コミュニケーション委員会との意見交換を行った。

(11) 日本広告業協会創立75周年記念企画の件

テーマ『日本広告業協会創立75周年記念事業「おい、広告。」叱咤激励インタビュー』

概要 様々な業界で活躍する著名人たちから、現在の広告の問題点、広告の可能性・クリエイティビティの活かし方について「叱咤激励」をいただき、広告の未来への気づきを得ていくプロジェクト。

実施時期 2026年1月23日（金）～1年間

実施形式 当協会PR委員会と株式会社電通の協力のもと、インタビュー内容を記事化し、JAAAウェブサイト内特設ページに掲出。また、一部期間限定で屋外広告を掲出。

(12) 「くるみん認定」の取得

2026年3月5日付で、子育てサポート企業として厚生労働大臣が認定する「くるみん認定」を取得した。2021年4月1日から2025年3月31日において一般事業主行動計画に定めた目標を達成し、次世代育成支援対策推進法に基づく基準を満たしたことを評価され、初めて認定された。

(13) 職員の退職

2025年10月31日付

田口 康弘

2025年12月18日付

越前谷益恵

2025年度 贈賞・表彰報告

第 55 回懸賞論文 入賞・入選者

「論文」課題：変容する世界と広告

- 金賞 下萩 千耀** 『広告は「求心力」のデザインへ～超多様性社会における、広告人の新たな使命～』
博報堂 クリエイティブデザインセンター PR 局 プラニング二部 PR ディレクター
統合ディレクター
- 銀賞 本田 完** 『アテンションの終焉、リレーションの夜明け～広告会社は「対話的クリエイティビティ」を武器に、
企業の事業開発パートナーへ』
博報堂 テーマビジネスデザイン局 ビジネスプロデュース二部 ビジネスプランナー
- 銅賞 津村 啓** 『AI 社会における広告パーソンの三極化と、その心理的課題に対する仏教哲学的アプローチ』
朝日広告社 ビジネス戦略本部 AI イノベーション室 AI イノベーション部

「私の言いたいこと」一般部門

第 3 テーマ 会社組織や会社内の課題

- 入選 伊牟田麻耶** 『「言語化できない価値」を資産に～AI 社会における広告業界復権のシナリオ～』
博報堂 博報堂生活総合研究所 上席研究員

「私の言いたいこと」新人部門 テーマ：自由

- 入選 柏木 爽良** 『「なんとなく」から価値創造へ～ゼロコスト時代の新しい生活者像～』
博報堂 メディアデザイン事業ユニット メディアビジネス基盤開発局 データテクノロジー部
データサイエンティスト
- 入選 松本 実優** 『共感の落とし穴～共感に潜在する「他人事の壁」を超えるために。広告が今できること。～』
博報堂 マーケットデザイン事業ユニット ストラテジックプランニング局 細野チーム
マーケティングプランナー
- 入選 金久絵理奈** 『“言えない” 広告と、生活者の信頼』
大広 東京ビジネスデザイン本部 第 3 ビジネスデザイン局 第 2 部

「私の言いたいこと」プレゼン動画部門 テーマ：一般部門（第 1～第 3 テーマ）のいずれかを選択

- 入選 田中 聡志** 『クリエイティブディレクターの絶滅、あるいは進化論。』
電通ダイレクト ソリューション本部 第 1 ソリューション室 クリエイティブ 1 部長
クリエイティブディレクター

「私の言いたいこと」特別部門（他業界経験者からの視点）

テーマ：他業界での経験に基づく広告業界・広告ビジネスへの意見・提言

- 入選 横山 徹** 『知の継承と進化：AI が紡ぐ広告業界のサステナビリティ』
博報堂 ビジネスコンプライアンス室 コストマネジメントディレクター

2025年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞 受賞者

2025 CREATOR OF THE YEAR

田中 直基 電通 zero/Dentsu Lab Tokyo エグゼクティブ・クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 大阪・関西万博 宣言広告
- 大阪・関西万博 水上ショー「アオと夜の虹のパレード」 協賛：サントリーホールディングス、ダイキン工業
- NTT「Project Humanity / Waves of Will」

2025 CREATOR OF THE YEAR MEDALIST

八木 義博 dentsu Japan / 電通コーポレートワン グロースオフィサー エグゼクティブ・クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- ニッカウヰスキー「マスターブランドキャンペーン」
- JRグループ「MY JAPAN RAILWAY」

野田 紗代 博報堂 クリエイティブ局 坂本チーム アートディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 大塚製薬 オロナミンC「大空大合唱」
- 大塚製薬 カロリーメイト「お前がいなければ、」

長谷川輝波 電通 zero クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- ヘラルボニー 企業伴走プロジェクト
- 大京 ライオンズマンション リブランディング

平田 純一 BBDO J WEST コンテンツ開発局 コンテンツ開発部 クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- ACジャパン 全国キャンペーンA「決めつけ刑事」
- エフ・ジェイエンターテイメントワークス パークプレイス大分「22 シュー年の扉」

加部 達彦 東急エージェンシー クリエイティブソリューション局 第3統合プランニング部
クリエイティブディレクター / コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- NTTドコモ「ばくモレ展」
- フジパン スナックサンド「50周年自虐広告」

市川 晴華 チョコレイト クリエイティブ本部 クリエイティブ1部 プランナー / クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 中京テレビ「ヨンと鳴く犬」
- 中京テレビ「テレビを知らない子供たち」

金瀬 侑也 ADK クリエイティブ・ワン プランニングディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 佐賀県「ゴジラ対（つい）サガ」
- 関西電力送配電「ウルトラ怪獣鉄塔へ行く」

荻原 海里 博報堂キャビン ※（応募時）博報堂 クリエイティブディレクター / コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- 有楽製菓 ブラックサンダー「ブラックサンダーの恩返し」
- 大塚食品 マッチ「異世界転校生ココロ」

田中 龍一 読売広告社 クリエイティブセンター センター長 クリエイティブディレクター / アートディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 三菱デリカミニ「デリ丸。」コミュニケーション
- Jリーグ×サンリオ「フェアプレーリボンプロジェクト」

第13回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」(JAAA 若手大賞)

大賞

※施策主体の都合により辞退

優秀賞

■絶対にバズる SNS「Y」

施策主体：「俺ではない炎上」製作委員会

推薦者：道下 凜音（ジェイアール東日本企画）、広瀬 明日香（ジェイアール東日本企画）、
内山 智義（ハッピーアワーズ博報堂）

■音でみるレシピ「SOUNDFUL RECIPE」

施策主体：味の素株式会社

推薦者：中野 葵葉（ADK クリエイティブ・ワン）

■超酷な姿勢展

施策主体：エスエス製薬株式会社

推薦者：廣田 岳茂（ジェイアール東日本企画）

■#おねがいテプラ

施策主体：株式会社キングジム

推薦者：遠藤 美海（東急エージェンシー）

■もしもし、ブルータス。with Google Gemini

施策主体：Google 合同会社／株式会社マガジンハウス／Firstthing

推薦者：石川 柚葉（ジェイアール東日本企画）、唐澤 和（電通）

ファイナリスト

■特茶「あの〇〇〇が、特茶ボトルに入りました」

施策主体：サントリー食品インターナショナル株式会社

推薦者：横尾 里奈（ジェイアール東日本企画）、阿部 栞土（読売広告社）

■星野源アルバム「Gen」発売プロモーション

施策主体：株式会社バーグハンバーグバーグ／ビクターエンタテインメント株式会社

推薦者：真田 光（ジェイアール東日本企画）、金子 隆輝（ジェイアール東日本企画）、三好 ひなた（電通）、
中川 歩美（電通）、小嶋 祐史朗（東急エージェンシー）、横山 雅樹（日本経済広告社）

■お金で払えない中華飯店

施策主体：株式会社メルカリ／株式会社 thaw / 株式会社 EPOCH

推薦者：廣田 岳茂（ジェイアール東日本企画）

■ほっかほっか亭フォントのデザイナーを探しています。

施策主体：株式会社ほっかほっか亭総本部

推薦者：高橋 花那子（ジェイアール東日本企画）、牧島 泉（大広）、阿部 栞土（読売広告社）

■崩壊リサイクルボックスをなくそう展

施策主体：日本コカ・コーラ株式会社

推薦者：土田 妃愛乃（電通）

■AIに聞いても解決しないこと、探偵！ナイトスクープに聞いてみよう

施策主体：朝日放送テレビ株式会社

推薦者：庄司 眞冬（朝日広告社）

■盗-TOH-

施策主体：株式会社 TBS ラジオ

推薦者：平川 拓海（博報堂 DY ホールディングス）

※ファイナリストは最終審査に残った施策を指します

第 61 回吉田秀雄記念賞 受賞者

個人賞

谷 喜久郎 (株式会社新東通信 代表取締役会長)

〔略 歴〕

- 1963 年 名城大学法学部
- 1972 年 株式会社新東通信を創業、代表取締役社長就任
- 1996 年 代表取締役会長に就任、現在に至る
- 2001 年 地域広告会社コンソーシアム「メイシス株式会社」設立、代表取締役社長就任

〔受賞歴〕

- 2006 年 スペイン国王よりアルフォンソ十世勲章
- 2012 年 外務大臣表彰
- 2016 年 旭日双光章、及び、カタルーニャ州政府よりサン・ジョルディ十字勲章
- 2023 年 スペイン・サラマンカ大学より世界初の国際功労賞
- 2025 年 公益社団法人 全日本広告連盟主催「第 13 回全広連日本宣伝賞 吉田賞」

〔贈賞理由〕

氏は 1972 年、新東通信を創業されて以来、地域に根差す独立系広告の先導者として、半世紀を超え我が国広告界の歩みを力強く導いてこられました。名古屋シティマラソン、世界デザイン博、愛・地球博など、数々の挑戦において、地域資源を国際性豊かな価値へと昇華され、その成果は都市の誇りとなって結実しております。さらにメイシスの設立、幾多の国際的受賞に示されるご功績は、国内外より高い評価を集めております。ここに広告界への多大なるご貢献に深甚なる敬意を表し、個人賞を贈呈いたします。

グループ賞

「OOH 新共通指標策定プロジェクト」に携わった皆様

(2021 年 1 月～ 2025 年 9 月まで、活動に携わられたすべてのメンバー 51 名様)

〔所属会社 16 社：社名 50 音順〕

株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ / 株式会社 NKB / エムシードウコー株式会社 / 株式会社大阪メトロアドエラ / 株式会社オリコム / 協立広告株式会社 / 株式会社ジェイアール東日本企画 / 株式会社電通 / 株式会社東急エージェンシー / 株式会社博報堂 / 株式会社博報堂 D Y ホールディングス / 株式会社パス・コミュニケーションズ / 株式会社ビデオリサーチ / Perion Network Ltd. / 株式会社メトロアドエージェンシー / 株式会社 LIVE BOARD

〔贈賞理由〕

「OOH 新共通指標策定プロジェクト」は、OOH 広告価値を測る業界標準確立を目的に 2021 年発足。定義・計測・運用を体系的に整備し、2025 年には日本 OOH メジャメント協会設立を実現。5 年超の尽力は業界基盤を築く画期的成果であり、ここに深く敬意を表しグループ賞を贈呈いたします。